

文化資料室ニュース

第9号 2009年11月・札幌市文化資料室発行

札幌市公文書館基本構想について

(総務局行政部総務課長 長谷川 利雄)

本紙の前号(第8号)では、この6月に札幌市に提出された札幌市公文書館基本構想への提言の概要をお知らせしました。その後、本市では、その提言を踏まえ、庁内会議を経て8月に札幌市公文書館基本構想素案(以下、「構想素案」と略します)を作成し、8月末からは、その構想素案を公開してパブリックコメントを実施しました。また、9月下旬からの札幌市議会第3回定例会で、さらに、11月には市議会総務委員会で、構想素案についての質疑が行われました。

本号では、この間に寄せられた意見や質疑、そして構想推進に向けてのポイントを紹介します。

1. パブリックコメントの結果

パブリックコメントを、8月31日から9月30日までの31日間実施したところ、20人の方から61件の意見が寄せられました。それらを構想素案の項目に合わせて分類すると、多くあった意見は、「保存対象文書」に関するものが7件、「公文書館の機能」に関するものが24件、「設置・運営」に関するものが10件でした。

意見の内容は、構想素案を否定するものではなく、賛同する意見、公文書館の設置を前提にした建設的な意見や質問でした。いずれも、構想素案の考え方に包含される内容であったこと、あるいは、今後、具体的な検討を進めていく段階で参考にさせていただく事柄でしたので、構想素案を修正しないことにしました。

2. 市議会での質疑

第3回定例会では、施設整備の考え方、公文書管理条例の制定、設置に向けての準備体制などについて代表質問がありました。

また、総務委員会では、上記1に示したパブリックコメントの結果を報告した後に、質疑が

ありました。その主な内容は、閲覧等の利用方法や公開のあり方、類似的機能を持つ施設との連携、立地場所の考え方、施設の運営主体や効率的な運営、運営する職員体制、運営協議機関の機能、公文書管理についての法律との整合や市の強化充実策、などに関する事項でした。

3. 構想推進に向けてのポイント

以上の経過を踏まえて、構想素案については、修正する部分はなく、原案どおり確定する運びとなりました。構想素案の主要事項は、本紙前号の提言の概要と同じですので、本紙では触れず、ここでは、今後、構想を推進するに向けて、いただいた意見や質疑でも指摘のあった取り組みべき主な課題を再度、述べます。

- ・より多くの市民に理解されるよう、公文書館の必要性や意義を発信すること。
- ・現在の市政を後世でも検証できるように、保存・公開する文書の選別や公開について制度設計をすること。
- ・誰もが利用しやすいよう、受付・相談・支援の仕組みを工夫するとともに、それができる組織体制として、行政経験豊富な職員の配置や専門的知識の習得を図ること。
- ・公文書の作成、保存、公文書館での利用までの管理が、本市のいずれの機関においても適切に行われるよう、統一したルールとして公文書管理に関する条例を制定するとともに、その実効が上がるよう、職員の意識と知識のレベルアップを図ること。

注：パブリックコメントとは...政策案を公開し、それに対する意見等を募集し、それを考慮して政策を決定していく手続き。

公文書館基本構想や今回のパブリックコメントの結果は、ホームページをご覧ください。

(URL <http://www.city.sapporo.jp/somu/kobunsyokan/>)

札幌市文化資料室における公文書の移管状況

札幌市の公文書館基本構想は、前ページにあるように素案どおり確定する見込です。公文書館の開設時期や規模・立地等は未定ですが、その母体と想定されている文化資料室では以前からそのための準備を進めています。平成13年度に試行で重要な公文書の評価選別を開始し、平成17年度からは歴史資料整理員2名を配置しました。これまでに移管を受けて整理した歴史的公文書は機構改革や予算要求関係を含む約3000冊になっています。平成21年4月には「事務分掌規則」に『歴史的価値を有する公文書その他の重要な公文書の調査、移管及び保存に関すること』を明記しました。

今年度の選別方法・結果は、次のとおりです。

選別準備.....仮選別基準、過去の選別・登録済公文書リスト、市組織図、事務分掌規則、公文書分類表等の選別参考資料を準備。

一次選別.....保存期間を満了した約11万冊の対象公文書データを担当者が全点チェックした上で、文化資料室内で検討し1100冊を選別。

引継予約.....選別結果を札幌市総合文書管理システムに予約入力。

二次選別.....札幌市の公文書集中書庫である文書保存センターで、の資料を参考に内容を確認しながら仮選別した対象公文書を、文化資料室に運びさらに全職員によるチェックを行い最終的に342冊を選別。

現在、歴史資料整理員が公文書の内容を見ながら件名(簿冊に含まれる個々の公文書の名称)等の目録情報を歴史的公文書検索システムに入力し、公文書にラベルを貼り文書保存箱に入れて書庫に仮配置する等の作業中です。



ここまで、実際の選別方法を紹介しましたが、公文書館で一番重要なのは、どのような公文書をどのように集めるかということです。札幌市における公文書の取扱を定めた「公文書管理規則」は、公文書を重要度等にしたがって保存期間1年、3年、5年、10年、永年保存に区分しています。文化資料室では保存期間満了の公文書を対象に評価選別を行っていますが、選別しているのは例年300冊程度とごく少数です。これは重要なものが多く含まれる永年保存の公文書が選別対象になっていないことが最も大きな原因です。

また、この規則には公文書の移管・選別に関する規定が明記されていません。

このため、平成21年7月に公布された「公文書等の管理に関する法律」に則って、札幌市でもできるだけ早期に「公文書管理条例」を制定し、保存期間の有期限化(例えば最長30年)、公文書館(文化資料室)への移管義務・評価選別権限を明記する必要があります。また、職員に対し研修等で公文書館の重要性を理解してもらわなければなりません。

なお、これまで選別し保存している歴史的公文書は、選別基準、公開基準等について関係機関と協議しながら検討中のため、残念ながら現状では一般公開出来ていません。(文化資料室 武田雅史)

止むを得ず専門用語を使用していますが、誌面の都合で注記をつけられないため疑問点は筆者等職員にお尋ねください。

新聞スクラップ・札幌発刊の新聞について

先日、「円山学田碑の建立時期が碑文では『明治庚戌春建一碑』、関連資料では『明治43年9月』と異なっていたので調べたい。」とある方が来室されました。書庫から数点の資料を運びましたが解決せず、「ひょっとしたら...」と文化資料室で作成した新聞スクラップを「検索機」を利用して調べたところ、明治43年4月13日と16日の『北海タイムス』に除幕式の記事が掲載されていました。

新聞からは、時として当時のリアルタイムの情報が得られたり、当時の人々の反応や様子を伺うこともできます。

そこで今回は、当室が所蔵している新聞スクラップと、札幌の出来事が満載されている地域の新聞をご紹介します。



『北海タイムス』スクラップ 大正13年1月3日より

地元新聞の「札幌関係」記事のスクラップ...当室では「札幌に関係する主要記事の新聞スクラップ」を約9000冊所蔵しています。過去の新聞から必要な記事を探し出すのは大変な作業ですが、冒頭の例のように、一部の新聞スクラップについては「検索機」を使って、キーワードから効率よく関連記事を探すことができます。下表は件名検索できる新聞スクラップです。

新聞名(発行期間)	スクラップの期間	備考	検索方法
函館新聞 (M11.1.7～S17.10.31)	M11.7.2～M22.5.30	(函館で発刊)	見出し一覧
北海新聞 (M20.1.20～M20.9.30)	M20.2.10～M20.9.30		検索機
北海道毎日新聞(M20.10.1～M34.9.2)	M20.10.1～M34.9.2	『北海新聞』が改題	検索機
北海タイムス (M34.9.3～S17.10.31)	M34.9.3～S17.10.31	『北海道毎日新聞』、『北門新報』、『北海時事』が統号	検索機
北海道新聞 (S17.11.1～発行中)	S17.11.1～S42.3.31	『北海タイムス』、『小樽新聞』など道内11紙が統合	検索機
小樽新聞 (M27.12.13～S17.10.31)	M30.8.1～M42.1.30	(小樽で発刊)	検索機
北門新報 (M24.4.21～M34.9.2)	M25,27,28,29,34		見出し一覧

検索機にキーワードを入力すると「日付・新聞名・記事見出し」の一覧が表示されます。近日、検索機で記事の内容も読めるようになる予定です。

上表の他にもテーマ別の新聞スクラップがあります。

札幌で刊行された新聞...札幌地域で刊行された新聞も所蔵しています(複写を含む)。身近な記事の他、地域の商店の広告なども掲載されています。下表以外の所蔵新聞やマイクロフィルムの所蔵についてはお問い合わせください。

新聞名	出版者	所蔵状況	備考
札幌新聞	創成社	1～31号、36号、40号 (M.13.6.16～M14.5.4)	
週刊琴似新報	琴似新報社	1～294号 (S23.8.1～S29.8.15)	71号～欠号多数
琴似新聞	琴似新聞社	28号 (S31.1.1)、2～7号 (S31.1.10～S31.3.1)	28号は週刊、以後月3回発行
琴似タイムス	産業建設琴似タイムス社 (4号～琴似タイムス社)	2～82号 (S31.1.20～S35.11.18)	欠号多数
琴似新報(旬刊)	琴似新報社	1～2号 (S33.4.1～S33.4.25)	
北海道新聞	北海道新聞社	S20.7.1～S27.9.30	マイクロフィルムからの複写
北海タイムス	北海タイムス社	S22.3.8～S24.10.10	マイクロフィルムからの複写
北海道新聞縮刷版	北海道新聞社	S42.4月号～H21.9月号(継続中)	

当室ではコピーサービスは行っていないですが、まず文化資料室の新聞スクラップで必要な記事を探し、中央図書館等でマイクロフィルムから記事を複写(有料)されると効率的ではないでしょうか。

その他の所蔵資料につきましても、お気軽にお問い合わせください。

(郷土史相談員 大矢和子)

行事予定

行事を行っている時間帯は特別開館し、一般の方もご利用いただけます。

ジュニア・ウィークエンドセミナー
札幌の歴史体験～歴史新聞をつくらう!
 札幌の歴史に詳しい先生の話や、文化資料室にある写真・地図を使って「札幌の歴史新聞」をつくらう!

テーマ...「札幌と動物たち」～円山動物園の歴史
 日時...平成22年2月6日(土) 10:00～12:30
 場所...文化資料室2F 郷土史相談室
 対象...小学校4年生～中学生
 定員...12人(応募者多数の場合抽選)
 講師...榎本洋介(文化資料室職員)

しめきり 平成22年1月28日必着

高校生向け講座

資料で見る札幌

古文書や地図などの記録史料から、札幌の歴史を研究します。

テーマ...「冬の生活」
 日時...平成22年1月7日(木)または8日(金)のどちらかを選択できます。14:00～16:00
 場所...文化資料室2F 編集室
 対象...高校生または15～18歳の方
 定員...10人(応募者多数の場合抽選)
 講師...榎本洋介(文化資料室職員)

しめきり 平成21年12月24日必着

お申し込み(ジュニア・ウィークエンドセミナー、高校生向け講座共通) お電話、ハガキ、Eメールで下記住所へお申し込みください。ハガキ、メールの場合は 住所、氏名、電話番号、年齢、学校名 をご記入ください。

古文書講座上級コース 札幌歴史ゼミナール

古文書などの資料をもとに個人で研究し、成果を発表するゼミ形式の講座です。

日時...平成22年1月23日、2月13日、3月13日(全て土曜)14:00～16:00
 場所...文化資料室2F 郷土史相談室
 対象...市内に居住が通勤・通学する、古文書が読めて3回連続参加が可能な方。
 定員...10人(応募者多数の場合抽選) 講師...榎本洋介(文化資料室職員)

お申し込み(古文書講座)

往復ハガキに 住所、氏名、電話番号、年齢をご記入のうえ、下記住所へお申し込みください。

しめきり
平成22年1月12日必着

『北部軍司令部防空作戦室の記録』DVD上映・報告会を開催しました

11月13日(金)、文化資料室主催による『北部軍司令部防空作戦室の記録』DVD上映・報告会を開催しました。当日は企画者の当初の予想を大幅に上回り、53名もの市民の方々にご出席をいただき、企画イベントとしてはまずまずの盛況のうちに終了しました。

また、当日会場には防空作戦室に関して本市が制作した DVD、調査報告書、復元模型の3点セットが勢ぞろいした上、これらの制作に大きく関わった研究者の方々から作戦室の歴史的沿革、建築上の重要性などの解説をしていただき、ただ単にDVDを上映するだけの催しとは一味違ったイベントとなったように思います。

後半部では、当時作戦室に勤務されていて当日お越しいただいた参加者の方々から貴重な生の証言が相次いで飛び出し、会場は大いに盛り上がりを見せました。アンケート結果では、今後も同種の企画を望むなどといった、概ね好意的な声が多かったようです。一方で、反省材料として、会場が手狭で参加者の方々大変窮屈な思いをさせてしまったことや結果的に閉会時間が大きく延長してしまったこと、音声・映像面での当室の手際の悪さなどがあげられます。

皆様にこれらのご迷惑をおかけしたことを反省し、今後の企画の際には改善に努めていきたいと思ひます。今回の上映・報告会が参加者の方々への作戦室に対するご理解をより一層深めていただくきっかけになれば幸いです。(文化資料室 竹内)



文化資料室 利用のご案内

開館時間 8:45～17:15 入館料 無料
 休館日 土・日・祝日・年末年始(12月29日から1月3日)
 郷土史相談室・札幌の歴史展示室がご利用になります

ご来館の際は公共交通機関でお越しください

交通アクセス / 東豊線「豊水すすきの」駅下車6・7番出口から徒歩3分、
または南北線「中島公園」駅下車1・2番出口から徒歩5分



文化資料室ニュース 第9号・2009年11月

発行 札幌市文化資料室 〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目

Tel・文化資料室事務局 011-521-0205, 郷土史相談室 011-521-0207 Fax・011-521-0210

E-mail・shiryoshitsu@city.sapporo.jp URL・http://www.city.sapporo.jp/bunkashiryjo/